

第1部の質問校

質問 順位	質問 高 校	質 問 要 旨	答弁を求める者
1	岡山県立倉敷青陵高等学校	1 岡山県無電柱化推進計画について 2 小田川合流点付替え工事未了期間の水害対策について	土 木 委 員 長
2	岡山県立岡山支援学校	1 重度障害者の避難行動への支援等について 2 通勤のための移動支援等について 3 建築物等のバリアフリーへの対応について	環 境 文 化 保 健 福 祉 委 員 長
3	明誠学院高等学校	1 SNSを活用した観光PRについて 2 インバウンド対策について 3 働き方について	産 業 労 働 警 察 委 員 長
4	岡山県立津山高等学校	1 岡山県の学力向上に向けたスマホ対策について	文 教 委 員 長
5	高梁市立宇治高等学校	1 耕作放棄地対策、農業就業者対策について	農 林 水 産 委 員 長
6	岡山県立岡山大安寺中等教育学校	1 投票率の低迷について 2 選挙公報の読みにくさ等について 3 政治参加を促す取組について	総 務 委 員 長
7	岡山県立玉島高等学校	1 いじめ防止対策について	文 教 委 員 長

第2部の質問校

質問 順位	質問 高 校	質 問 要 旨	答弁を求める者
8	金光学園高等学校	1 産婦人科・助産院の存在しない市への支援について 2 河川工事での生物への配慮について 3 河川に生息する絶滅危惧種等の生態把握等について 4 河川水質保全の取組について	環境文化保健 福祉委員長 土木委員長 環境文化保健 福祉委員長 環境文化保健 福祉委員長
9	岡山県立西大寺高等学校	1 LCCとチャーター便の誘致について 2 空港周辺への企業誘致について	総務委員長 産業労働警察 委員長
10	岡山県立倉敷天城高等学校	1 高校教育の質の向上について 2 部活動の充実と働き方改革について	文教委員長
11	岡山県立瀬戸南高等学校	1 スマート農業推進について 2 県農産物の輸出促進について	農林水産委員長
12	中国デザイン専門学校	1 防災講習のあり方等について	総務委員長
13	岡山県立岡山一宮高等学校	1 男女混合名簿について	文教委員長
14	井原市立高等学校	1 児童生徒の登下校の安全対策について	産業労働警察 委員長

第3部の質問校

質問 順位	質 問 高 校	質 問 要 旨	答弁を求める者
15	岡山県立津山東高等学校	1 レジ袋・廃プラスチックの削減政策 について 2 へき地医療体制等について	環境文化保健 福祉委員長
16	岡山県立玉野高等学校	1 防災対策について 2 空き家対策について	土木委員長
17	岡山県立倉敷鷺羽高等学校	1 鳥獣被害対策について	農林水産委員長
18	岡山県立和気閑谷高等学校	1 地域公共交通への支援について 2 企業誘致について	総務委員長 産業労働警察 委員長
19	岡山県立矢掛高等学校	1 少子化対策と都市部への人口集中に ついて	総務委員長
20	岡山県立岡山芳泉高等学校	1 性的マイノリティに対する取組につ いて	文教委員長

土木 1 岡山県無電柱化推進計画について

県では、今年度から「岡山県無電柱化推進計画」に基づく取組を行っているが、この計画を推進する意味と意義は何か。また、計画が行われる10年間で、優先着手区間でどれほどの電柱が減ると予想しているのか。さらに、計画に関する予算はどのくらいを予定しているのか。併せて土木委員長に伺いたい。

土木 2 小田川合流点付替え工事未了期間の水害対策について

小田川合流点付替え工事の完成は5年後を予定しているが、完成までの間に、本流の小田川の水が支流に逆流し、氾濫するおそれがある場合にはどのような対応を検討しているのか、土木委員長に伺いたい。

環文
保福

1 重度障害者の避難行動への支援等について

災害時に私たちが自主的に避難するには数々のバリアが存在する。県は、重度障害者に対する避難の支援や、医療的ケアが必要な人への避難時や避難先での支援について、どのように考えているのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

環文
保福

2 通勤のための移動支援等について

通勤時には支援が受けられず、私たちは家のそばで働くか職場のそばに住むという選択肢しかない。また、仕事中に身体介護が必要なケースもあると思うが、ヘルパー利用などの公的援助を受けることはできない状況だ。私たちは、将来、少しでも社会貢献し、自立し、余暇を楽しみながら豊かに生活したい。私たちの就労を支えるサポート制度を県として整えてほしいが、環境文化保健福祉委員長の所見を伺いたい。

環文
保福

3 建築物等のバリアフリーへの対応について

私たちは日頃様々な場面でバリアを感じている。車椅子1台しか入れない大きさのエレベーター、車椅子対応バスの本数の少なさ、駅の電車とホームとの段差などだ。今日も、車椅子のまま登壇することができず、残念だ。県の「楽々おでかけ便利帳」で事前にバリアフリー設備状況を確認しても、詳しいことまでわからず、行って戸惑うことがある。バリアのない環境が整っていることで、私たちは一層自立して行動することができる。バリアフリーへの対応について、県はどのように考えているのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

産労
警察

1 SNSを活用した観光PRについて

県の魅力発信ツールとしてホームページによるPRが行われているが、これは「待つ観光政策」である。日々「情報がやってくる」環境において、本県観光を活性化させるには、積極的に発信する「届ける観光政策」への転換が求められている。例えば、「インスタ映え」や「ハッシュタグ」を使えば、一気に拡散されて爆発的な広がりが見込める。県では、SNSによる発信を積極的に行っているのか。また、今後、より強化していくことについてどう考えているのか、併せて産業労働警察委員長に伺いたい。

産労
警察

2 インバウンド対策について

近年、東アジア圏からの観光客が増加傾向にあるが、東アジアの人々は、英語への対応力が低いとのことだ。市街地を離れると、英語表記さえないこともあり、対応に困るのではないかと。今後、増加が見込まれる東アジア圏からの外国人観光客に対して、どのような対策を講じていこうと考えているのか、産業労働警察委員長に伺いたい。

産労
警察

3 働き方について

最近、新聞等で「育児休業」という言葉をよく目にする。育休では、一定期間仕事や社会から離れることになり、「子育て」と「仕事」を両立したい女性にとって大きな不安要素である。育休の他に「育児短時間勤務」や「部分休業」などがある中、育休だけが注目されてよいのか。「育児短時間勤務」等はあまり周知されておらず、効果的に機能していないのではないかと。県は、一般企業より育児短時間勤務や部分休業の取得を促進していると思うが、県職員の取得状況はどうか。また、県内企業の状況はどうか。さらに、様々な制度をわかりやすく周知する取組の計画はあるのか、併せて産業労働警察委員長に伺いたい。

文教 1 岡山県の学力向上に向けたスマホ対策について

スマホの利用時間の増加は、明らかに家庭学習時間に影響を与え、学力低下につながる。県はスマホサミットなどの取組を行っているが、県全体の子どもたちのスマホ利用時間の減少や、家庭学習時間の増加に対し、効果が現れているのか。また、法的に小中高生のスマホ利用に制限をかけるなどといったことはできないのか。併せて文教委員長に伺いたい。

農林 1 耕作放棄地対策、農業就業者対策について

現在、本学校ではキャリアスキルの授業で農作業を行っており、地域の畑を借りてサツマイモを育てている。宇治地域は緑豊かで農作も盛んであるが、それでも休耕田や休耕畑がある。高齢化が進み、田畑を管理できる人が少なくなり、使われない土地が増えている現状は本地域にとどまらず、高梁全体、更には県全体を見ても共通する課題となっている。増加する休耕田や農作に関わる人口の減少、高齢化について、県として何か対策など考えているのか、農林水産委員長に伺いたい。

総務 1 投票率の低迷について

国政選挙、地方選挙ともに投票率が低迷しているが、要因をどう捉えているのか。総務委員長に伺いたい。

総務 2 選挙公報の読みにくさ等について

若者が選挙に関心を持たず投票に行かない理由として、選挙公報の読みにくさ、進学等で居住地が変更しても住民票を移していないことが挙げられる。この2つの課題をどう改善し、投票を促していくのか、総務委員長に伺いたい。

総務 3 政治参加を促す取組について

若者への主権者教育が押しつけにならないよう、政治参加を促すためにどのように取り組んでいるのか、総務委員長に伺いたい。

文教 1 いじめ防止対策について

本県のいじめ認知件数は、近年増加傾向にあり、全国値も同様な傾向にある。これはいじめの認知が進み、その対策が進んでいると考えるとよいのか。また、全国と比較して認知件数が少ないことをどう分析しているのか。そして、他県の実践例及び自分たちのこれまでの小学校からの学校生活を振り返りから、「仲間づくり」の観点からも学校行事は重要であり、このような行事を通じて、友達との関係を築いていくことが、日常的ないじめ防止につながる。特に、小中学校における学校行事の活性化が必要だが、今後の岡山県でのいじめ防止対策として、学校行事の有効性についてどのように考えているのか。併せて文教委員長に伺いたい。

環文
保福

1 産婦人科・助産院の存在しない市への支援について

学校の課題研究の時間に地域包括ケアシステムというテーマで浅口市の妊婦への支援と制度について調べる中で、浅口市に産婦人科や助産院がないことを知った。平成 27 年度浅口市の次代を担う若者の意識調査によると、自分の地域に産婦人科や助産院がないということは不安や心配という声が上がっており、平成 30 年度の意識調査でも、コウノトリタクシーの登録範囲でもなく、近くても笠岡市や倉敷市しかなく不便だという声は消えていない。県には、現在、産婦人科や助産院のない市に対してどのようなサポートや制度があるのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

土木

2 河川工事での生物への配慮について

河川工事を行うに当たり、モクズガニなど河川に生息する生物への配慮は行われているのか、土木委員長に伺いたい。

環文
保福

3 河川に生息する絶滅危惧種等の生態把握等について

河川に生息する絶滅危惧種、希少種の生態を把握し、適切な保護が行われているのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

環文
保福

4 河川水質保全の取組について

河川水質の保全のため、高校生の私たちも含めて県民に求めていることについて、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

総務

1 LCCとチャーター便の誘致について

本県は、高速道路網や鉄道網などの交通基盤が充実しているが持ち味が十分に活かされていない。とりわけ、岡山桃太郎空港は大型旅客機の着陸が可能な空港であるにも関わらず就航便数が少ない。利用促進ため積極的にLCCを誘致してはいかがか。また、夏休みなど長期間渡航が可能な期間限定のチャーター便の誘致に取り組んではいかがか、併せて総務委員長に伺いたい。

産労
警察

2 空港周辺への企業誘致について

中四国の物流拠点を目指して、航空貨物ターミナルの開業を空港周辺への産業団地形成に活かしていけば、輸入関連ビジネスなどの企業も集まってくると思う。今年8月には、空港付近の産業団地へ3社の立地が決まったようだが、さらに空港周辺への企業誘致を促進していくことを考えているか、産業労働警察委員長に伺いたい。

文教 1 高校教育の質の向上について

本校は、SSHの指定校として恵まれた教育活動が実践できている一方、県内には、指定を受けていない学校も多く、これらの学校間には教育格差があり、様々な教育活動を普及する機会が確保されていない。教育の機会均等と特徴のある教育実践を並行していくため、高校における研究指定をどう考え、今後どのように進めるのか。また、県内の生徒が先進的な学校の取組に関するプリント類の共有化や授業・研究に関する動画配信サービスなどを受けることが可能か。併せて文教委員長に伺いたい。

文教 2 部活動の充実と働き方改革について

本校では、自分達で日程や活動時間を決め、顧問の先生と相談して活動する部活動がある。県は、働き方改革の一環として、部活動の活動時間の方針を平日は2時間程度、休業日は3時間程度としているが、生徒としては、ある程度の活動時間の中で、充実した部活動をしたいという意見が多くある。また、部活動指導員の配置や研究指定校での教育活動の普及が進められているが、実際の教育効果は不透明である。このような状況を踏まえ、県の推進する部活動のあり方が、生徒主体の部活動のあり方をよりよい方向で後押しできるのか、文教委員長に伺いたい。

農林 1 スマート農業推進について

スマート農業は岡山県の農業の振興を考える上で重要なテーマと考えるが、スマート農業を推進し実現することによって、どのような農家支援を実現していこうとしているのか。また、スマート農業加速化実証プロジェクトはどのように活用されて、どんな成果が得られているのか。さらに、スマート農業の現在の課題はどのようなことなのか、農林水産委員長に伺いたい。

農林 2 県農産物の輸出促進について

海外でのブランド確立による県産農産物の輸出促進について、輸出を進める体制づくりを急ぐ必要があるが、現在の主な輸出先として想定されているアジアの国はどこで、なぜその国をターゲットにしているのか。また、農家が輸出に関して海外への視察に行ったり、勉強をしたりするためのサポートを県としてどのように実施しているのか。さらに、農産物の鮮度を保って輸出するために、どのような研究やそのサポートを行っているのか、農林水産委員長に伺いたい。

総務

1 防災講習のあり方等について

西日本豪雨からの教訓を元に防災講習のあり方について考えたい。県が実施している防災講習の現状と拡散力、影響力をつけるためにデザインを使うということに対して、どのような見解があるか、総務委員長に伺いたい。

文教 1 男女混合名簿について

県内では、男子が前、女子が後といった男女別名簿を使用する高校が大半を占めている。一方、他県では、県の主導で男女混合名簿を導入しているところもあり、また、地元岡山市では、ほぼ全ての小学校で男女混合名簿が導入されている。ジェンダー平等の教育の推進に向けて、全県的な男女混合名簿の推進を検討願えないか、文教委員長に伺いたい。

産労
警察

1 児童生徒の登下校の安全対策について

本校では、生徒会が中心となって、小学生の下校見守り活動を行っているが、活動中に危険な場面に遭遇した場合、どう行動すべきか疑問に思った。小学校と話し合い、緊急時の対応について一定の共通理解を持つことができたが、自分たちだけ知っているのではいけないと思う。不審者遭遇などの緊急時、児童生徒はどのように行動すべきか、ガイドラインがあれば教えてほしい。また、見守りができる人が少ないと考えるが、県はどのような対応をしているのか、併せて産業労働警察委員長に伺いたい。

環文 1 レジ袋・廃プラスチックの削減政策について

保福 近年、地球温暖化によって地球全体の気温は上昇し続けており、私たちの学校では、特に夏場、体育祭の練習や部活動などの際に熱中症を訴える生徒が多発した。国では地球温暖化対策の一環として「レジ袋」の有料化を来年7月から行う予定になっているが、私たちは「レジ袋を県内全面禁止」にして、マイバッグ使用促進、レジ袋削減を先進的に行うとよいと考える。県では今後、どのようなレジ袋、廃プラスチックの削減政策を行うのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

環文 2 へき地医療体制等について

保福 高校の授業で医療について調べ、フィールドワークで美作市の上山地区を訪問し実態調査を行ったところ、病院や介護施設が遠いなどの理由で、保健サービスを十分に受けられないと言っている高齢者が多くいた。岡山県は多くの限界集落を抱えており、県全体で医療・介護の問題を考えていかなければならないと思う。上山地区では、その地域在住のコミュニティナースが毎日訪問看護をしたり、週一回、医者が集落に来てくれる仕組みがあるが、問題を解決するため、県はどのような対策をしているのか、環境文化保健福祉委員長に伺いたい。

土木 1 防災対策について

平成30年7月豪雨により、特に甚大な浸水被害が発生した河川について、再度災害防止のため、河川激甚災害対策特別緊急事業や河川災害復旧等関連緊急事業として河川改修を実施しているが、完了目標までの間に発生する災害に対しては十分な対策がとれる状態にあるのか。また、具体的にはどのような対策がとられているのか、併せて土木委員長に伺いたい。

土木 2 空き家対策について

岡山市では、平成28年度から平成37年度の10年間で、老朽・危険度の判定ランク別に優先順位を付けて空き家の除却や修繕等に取り組むという計画を策定している。その他の市町村でもそれぞれ計画を策定し、空き家対策に取り組んでいるが、現在、県内の作業はどれくらい進んでいるのか。また、空き家の状況にもよるが、1件当たりの除却費用はどれくらいかかるのか、併せて土木委員長に伺いたい。

農林

1 鳥獣被害対策について

農作物等の鳥獣被害防止対策の推進について、岡山県では、鳥獣被害防止サポート事業の中で、「ICT等を活用した捕獲」を実施しているが、具体的には、どのような内容でどのくらいの予算を割り当てているのか。また、その活用により、どれだけの効果が見込めるのか。さらに、地域の鳥獣被害対策の「推進リーダーの育成」について、どのような内容でどのように取り組んでいくのか、農林水産委員長に伺いたい。

総務

1 地域公共交通への支援について

和気町は町営バスが充実しており、小・中学生は通学が無料、愛カードを所有している高齢者は半額で利用できる制度がある。しかし、赤磐市では桜ヶ丘など坂道が多い地域があるにも関わらず、そのような制度の充実はあまり見受けられない。市町村行政での違いがあるのだと考えるが、県は制度の充実がない市町村に対して、どのような支援を行っているのか、総務委員長に伺いたい。

産労

2 企業誘致について

警察

本県は、災害が少ないことを魅力の一つとしていたが、今年の西日本豪雨の被害により、その魅力は衰退してしまったように感じている。こうした印象の変化は、企業誘致にも影響を及ぼすと考えられる。企業誘致は、本県の発展のために大切なことだが、西日本豪雨以降、企業誘致においてどのような対策をとっているのか、産業労働警察委員長に伺いたい。

総務

1 少子化対策と都市部への人口集中について

県が、市町村の少子化対策の後押しや、県内都市部への人口集中を食い止めるために行っている取組には、どんなものがあるか。また、少子化や県内都市部集中に歯止めをかけるために、高校生はどんな役割を担えると考えているか、併せて総務委員長に伺いたい。

文教 1 性的マイノリティに対する取組について

本校では、性的マイノリティへの偏見・いじめ等がいまだに残っているという現状を抜本的に変えるための第一歩として、男子はズボン、女子はスカートといった規定を取り除き、4年前から女子用スラックスの導入をはじめた。県では学校教育の中で、性的マイノリティに対するどのような取組を具体的に行っているのか、文教委員長に伺いたい。